

2025年1月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

名古屋鉄道グループの私募ファンド組成支援について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)ならびに三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社(代表取締役社長:名取 秀彦、以下「三井住友トラスト不動産投資顧問」)は、名古屋鉄道株式会社(代表取締役社長:高崎 裕樹、以下「名古屋鉄道」)の不動産事業の中核会社である名鉄都市開発株式会社(代表取締役社長:日比野 博、以下「名鉄都市開発」)がアセットマネージャーを務める第1号不動産私募ファンド組成にあたり、運営体制支援や出資者・貸付人のアレンジメント業務を含む支援を実施しましたのでお知らせします。

当社は、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、社会課題解決型の新たな金融仲介機能の発揮によって、地域経済の中軸を担うステークホルダーの有機的な繋がり、結節点となり、地域の持続可能な発展と資金循環(地域経済エコシステム構築)へ貢献することを目指しています。

名古屋鉄道は、「魅力ある地域づくり・まちづくり」、「稼ぐ力の強化・構造改革の推進」および「攻守両立による経営の強靱化」を中期経営戦略に掲げています。係る中、同グループは、不動産証券化事業を活用した「不動産事業の複線化」を進め、中部圏の「ひらかれたまちづくり」を強力に推進し、地域価値の向上に取り組んでいます。

名古屋鉄道の取り組みを具現化するため、当社は、名鉄都市開発のアセットマネジメント事業参入へ向けたパートナーとして運営体制の支援を進めてきました。このたび、名鉄都市開発および三井住友トラスト不動産投資顧問がアセットマネージャーを務める私募ファンドを組成し、中部圏の事業会社や地域金融機関等の投融資資金を基に愛知県内の不動産を取得し運用を開始しました。

三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパス(存在意義)に掲げ、当社のありたい姿(※1)に共感するローカル&グローバルパートナーとのネットワークを構築し、地域課題の解決に取り組むことで「持続可能なエコシステム」を創出していきます。

(※1)ありたい姿

- (1) フィデューシヤリーとしてステークホルダーから信頼される存在
- (2) 将来世代も包摂する全ての人の Well-being 向上に貢献
- (3) 資金・資産・資本の好循環を促す社会インフラ

<ファンド概要>

ファンド名称	ミューズカーレット合同会社
資産規模	約 94 億円
対象資産	名古屋都心部の共同住宅および名鉄沿線を含む愛知県内の底地
貸付人	三井住友信託銀行株式会社、中部圏の地域金融機関
アセットマネージャー	名鉄都市開発株式会社、三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社

以上